

## PRESS RELEASE

**Synspecive が小型 SAR 衛星量産工場のパートナーに東京計器を選定  
クリーンルームを備えた衛星組立棟の建設と、数年以内の組立開始に向けた協議を開始**

東京計器株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役 社長執行役員 安藤毅、以下東京計器）は、このたび株式会社 Synspecive（本社：東京都江東区、代表取締役 CEO：新井元行、以下 Synspecive）と小型 SAR 衛星の量産化に向けたパートナーシップを締結し、協議を開始いたしました。Synspecive は、2026 年前後までに 30 機体制の衛星群(コンステレーション)構築を計画しており、東京計器は新たにクリーンルームを備えた衛星組立棟を建設して、数年以内の量産開始を目指します。



Synspecive 小型 SAR 衛星



東京計器 那須工場（栃木県那須郡）

Synspecive は、人工衛星の開発・運用、ならびに衛星データやその活用によるソリューションプロバイダーです。同社の小型 SAR 衛星「StriX(ストリクス)」は、従来の大型 SAR 衛星に匹敵する性能をもったまま、小型・軽量による低価格化を実現しています。既に 2 機の実証機を打ち上げ運用を行っており、2023 年中に合計 6 機、2026 年前後には 30 機の衛星群（コンステレーション）構築を目指しています。

東京計器は永年に亘って培ってきたマイクロ波応用技術を活かし、これまで Synspecive の小型 SAR 衛星向けにマイクロ波パワーアンプモジュールを納入してまいりました。今回の量産工場のパートナー選定を受け、東京計器 那須工場内にクリーンルームを備えた衛星組立棟を建設し、量産開始を目指します。また、長期ビジョンとして掲げている「東京計器ビジョン 2030」において、宇宙事業を新たな成長ドライバーの候補としており、将来的に衛星活用ビジネスによって安全な社会の実現に貢献することを目指しています。

今後両社では、現状を確認しつつ協議をすすめ、実行計画に基づき、契約は段階的に行われる予定です。

本件に伴う、2023 年 3 月期の業績予想への影響につきましては、開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

#### ■ 株式会社 Synspective について

Synspective（シンスペクティブ）は、データに基づき、着実に進歩する世界の実現を目指し、衛星による観測データを活用したワンストップソリューション事業を行う会社です。

「新たなデータとテクノロジーにより人の可能性を拡げ、着実に進歩する『学習する世界』を実現する」をミッションに掲げ、小型 SAR 衛星コンステレーションから取得した衛星データとその他外部の多様なデータから、機械学習等を活用して必要な情報を抽出、目的に合わせて整理し、顧客の課題に対するソリューションを提供します。

設立：2018年2月

所在地：東京都江東区三好 3-10-3

代表者：代表取締役 CEO 新井元行

URL：<https://synspective.com/>

#### ■ 東京計器株式会社について

東京計器は、国内初の計器メーカーとして明治時代に創業し、現在は、民間・官公庁両方の事業で社会インフラを支えている BtoB の企業です。幅広い事業分野を有しており、船舶港湾、産業機械、建設機械、上下水道、防衛、鉄道などの安全安心に貢献する製品を提供しています。

2030年に向けた長期ビジョン「東京計器ビジョン 2030」にて宇宙事業を成長ドライバーの一つとして掲げ、航空・宇宙関連向けマイクロ波応用機器メーカーとしての実績を基に、既存事業が保有する市場を取り込んだ衛星活用ビジネスにより、安全な社会の実現に貢献していきます。

創立：1896年5月1日

所在地：東京都大田区南蒲田 2-16-46

代表者：代表取締役 社長執行役員 安藤 毅

URL：<https://www.tokyokeiki.jp/>

#### □■本件に関するお問い合わせ先■□

東京計器株式会社

コーポレート・コミュニケーション室

〒144-8551 東京都大田区南蒲田 2-16-46

TEL：03-3730-7013（直通）

<https://www.tokyokeiki.jp/>